

2026年度日系社会研修 コース概要

No	26
所管センター	沖縄
分野	日本文化
研修コース名	沖縄空手文化研修
受入人数	13
受入時期	下半期
来日日	2026年10月7日（水）
帰国日	2026年11月7日（土）
提案団体	一般社団法人沖縄伝統空手道振興会
提案団体ウェブサイトアドレス	https://www.odks.jp/
研修員必要資格	「望ましい条件」 ・ 沖縄空手に関心のある者 ・ 帰国後も学んだ知見を活かし、ウチナーネットワークの継承と発展に向けた活動を積極的に行う意欲のある者
研修員に必要な実務経験年数	不問
研修使用言語	日本語、スペイン語
日本語能力 （JLPT目安）	N5
英語能力	英語でのコミュニケーション可
研修目標	研修員が沖縄空手を中心とする沖縄文化の知見を習得する。
期待される成果 （習得する技術）	①研修員に、沖縄空手を中心とする沖縄文化の全体像が理解される。 ②研修員に、沖縄空手の伝統的技・知見が習得される。 ③上記①、②により研修員に文化的アイデンティティの継承や交流の架け橋の担い手としての意識が形成される。
研修計画（内容）	1. 講義：沖縄空手を中心とする沖縄文化の概要 2. 実習：沖縄空手の主要流派等（首里・泊手系・剛柔流・上地流系、古武道）の基礎習得、空手の日記念演武祭参加 3. 見学：沖縄空手会館等 4. 発表：研修成果発表会（内部及び沖縄空手関係者）
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	沖縄は空手発祥の地である。世界に空手愛好家は約1億3千万人いるとも言われており、空手を通じた人的交流が促進されている。 沖縄の空手は、唯一無二の沖縄独自の技術や哲学が取り入れられ発展を遂げてきた。鍛錬を通じて孝行や礼儀を教えるなど人間形成や道德教育にも繋がっている。また、日常的にも地域の伝統行事等で空手演武が行われるなど、沖縄文化の基層となるものである。 沖縄空手文化研修を通して沖縄の独特な文化に触れるとともに、沖縄空手の習得を支援することは、国際交流促進に貢献するものであり、文化的アイデンティティの継承や交流の架け橋となる次世代の人材育成に寄与するものである。
応募希望者への特記事項	空手着をお持ちの方はご持参下さい。